



第112号土坑 土層 S→



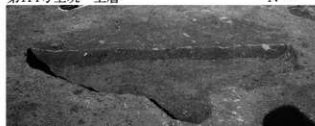
第113号土坑 土層 S→



第114号土坑 土層 N→



第115号土坑 土層 S→



第116号土坑 土層 S→



第117号土坑 礎・炭化材出土状況土 W→



第120号土坑 完掘 E→



第121号土坑 完掘 W→



第121号土坑 土層 S→



第125号土坑 礎出土状況 S→

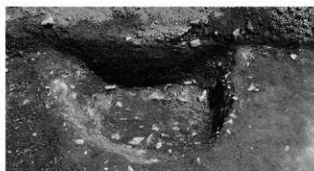


第125号土坑 完掘 S→



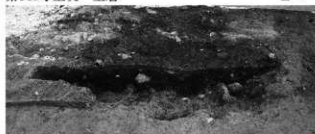
第140号土坑 土層

E→



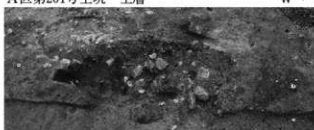
A区第201号土坑 土層

W→



第1号火葬墓 (SC-4) 土層

N→



第1号火葬墓 (SC-4) 完掘

N→



A区第3号火葬墓(SC-11)炭化物・烧骨確認状況 S→



第20・21号溝跡合流部土層

E→



第29・30号溝跡 完掘

S→



第26号溝跡 土層

S→



第10号烧土遺構 確認

W→



第11号烧土遺構 土層

N→



第1号性格不明遺構 完掘 N→



第1号性格不明遺構 土層 N→



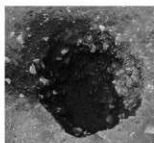
第1号炭化物集中遺構 土層 N→



第2・3号炭化物集中遺構 土層 N→



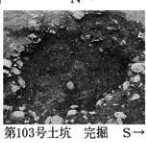
第5号炭化物集中遺構 確認 N→



第100号土坑 完掘 E→



第102号土坑 礫出土状況 S→



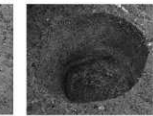
第103号土坑 完掘 S→



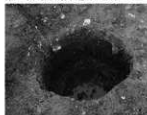
第104号土坑 土層 S→



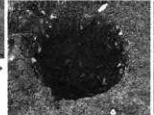
第106号土坑 土層 W→



第130号土坑 完掘 E→



第131号土坑 完掘 S→



第133号土坑 完掘 S→



第136号土坑 土層 S→



第141号土坑 土層 S→

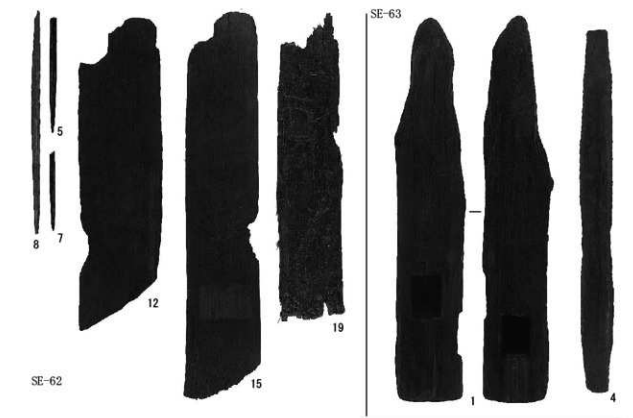


第149号土坑 土層 S→

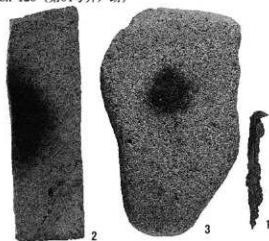


第148号土坑 土層 S→

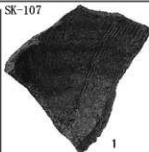




SK-123 (第64号井戸跡)



SK-107



SK-125



SK-119 (第2号土坑墓)



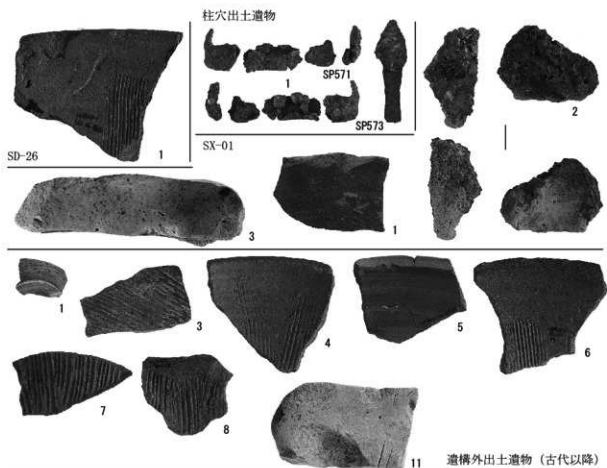


図6-3 体部文様の拡大写真 (渦文筋文後辻線縁取り)



図9-1 体部整形痕の拡大写真 (横位条痕、原体は貝殻か?)



図24-60 体部整形痕の拡大写真 (横位のやや粗いミガキ)



図33-181 体部整形痕の拡大写真 (縦位の条痕、条痕間の幅が広い)

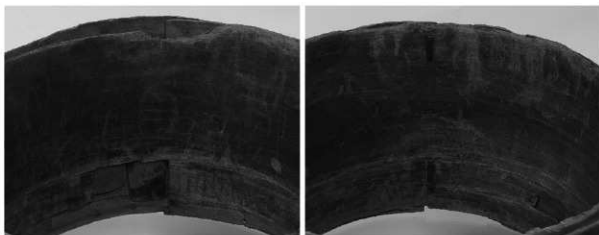
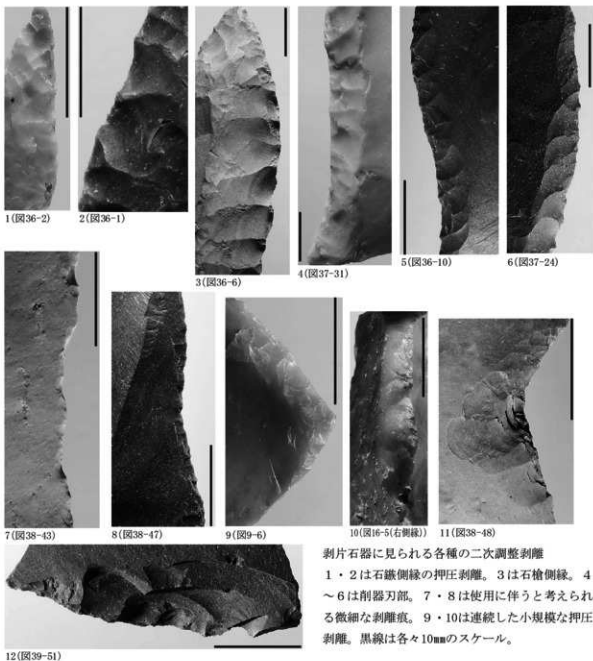


図69—22曲物内面の写真（写真左：破損した部分には嵌位に差し込まれた板材が見える。また、炭塗りとケガキも見られる。写真右：樽止めの状況。



剥片石器に見られる各種の二次調整剥離

1・2は石楯側縁の押圧剥離。3は石楯側縁。4～6は削器刃部。7・8は使用に伴うと考えられる微細な剥離痕。9・10は連続した小規模な押圧剥離。黒線は各々10mmのスケール。

# 報告書抄録

ふりがな	よねやまかっこにいせきこ							
書名	米山(2)遺跡V							
副書名	青森県総合運動公園建設事業に伴う発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第456集							
編著者名	大湯卓二 中嶋友文 茅野富雄 岩田安之							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森県青森市新成字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	西暦2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		旧日本測地系 (Tokyo Datum)	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因	
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
米山(2)遺跡	青森市大字 宮田字米山 130、他	02201	01277	40° 50′ 24″	140° 51′ 06″	20060420 ～ 20061025	6,500㎡	青森県総合運動公園 建設事業に伴う事前調 査
				日本測地系2000 (JGD2000)	東経	20070423 ～ 20071109	2,100㎡	
				40° 50′ 33″	140° 50′ 53″			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
米山(2)遺跡	散布地	縄文時代前期末葉 ～晩期末葉		円筒下層d2式土器、最花式土器、牛ヶ沢式土器、蛭沢式土器、十腰内I式土器、十腰内5式土器、大淵B式土器、大淵A'式土器		縄文時代後期後葉の集落跡と遺物包含層を発見。検出された土器群は宮田・矢田地区では初見。		
	集落跡	縄文時代中期末～後期初頭	竪穴住居跡	1軒		縄文時代晩期末葉の土器包含層を発見。		
		縄文時代後期後葉	竪穴住居跡	4軒		中世(13～16世紀)の遺構群を発見。		
		縄文時代時期不明	土坑	1基	石鏃・石錐・石槍・石匙・搔器・削器・使用痕のある剥片・剥片・凹み石・敲き石・磨石・磨製石斧・石皿	竪穴遺構・カマド状遺構・土坑墓・火葬墓等から炭化した種子が多量出土。		
	散布地	中世～近現代	土坑	4基	船載陶磁器(青磁・白磁)	土坑墓からは菊花散双鳥鏡が出土。		
			竪穴遺構	6基	国産陶磁器(瀬戸天目・珠溝跡(中世)	井戸枠の年輪年代から3つの井戸跡に使用された木材の伐採年代が確定又は推定された。		
			井戸跡	17基	洲濱鉢・甕)			
			カマド状遺構	57基	器類・加工材、鉄製品(刀・柱穴			
			土坑(中世)	13基	鏃・用途不明、銅製品(鏡・焼土遺構			
			土坑(時期不明)	33基	6基			
			土坑墓	1基	銭貨)			
			火葬墓	3基	炭化種子			
			溝跡(中世)	8条	近世陶磁器(肥前・唐津)、近現代陶磁器			
			溝跡(近世以降)	15条	遺物総量 74箱			
			柱穴	507基				
			焼土遺構	6基				
			性格不明遺構	1基				
			炭化物集中遺構	4基				
要約	縄文時代については従来の調査同様に、中期後葉と後期後葉期の居住域を発見した。特に後期後葉期については、遺跡内での南限と考えられる。その他後期前葉・晩期末葉の遺物包含層を発見した。中世については、竪穴遺構・井戸跡・カマド状遺構・火葬墓・土坑墓・土坑・溝跡・柱穴などの遺構を発見した。おおよそ13世紀～16世紀にわたる長い期間存続していた可能性が年代測定の結果として提示できた。カマド状遺構や井戸跡などを利用した作業場としての性格を持つ可能性がある。							



---

青森県埋蔵文化財発掘調査報告書 第456集

## 米山(2)遺跡Ⅴ

— 県新総合運動公園建設事業に伴う遺跡発掘調査報告 —

発行年月日 2008年3月31日  
発行 青森県教育委員会  
〒030-8540 青森市新町二丁目3-1  
編集 青森県埋蔵文化財調査センター  
〒038-0042 青森市新城市田内152-15  
TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702  
印刷 株式会社 誠 工 社  
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目3-18  
TEL 017-729-1611 FAX 017-729-1188

---